

塩竈市地域防災計画について



見直しの方針

地域防災計画は、本年9月完成を目標とし、「津波対策編」や「原子力事故対策編」などを新たに加え、抜本的な見直し作業を行っています。

防災会議の公開や町内会、自主防災組織などへの説明会、パブリックコメントの実施など、市民の皆さんからのご意見を反映した実行性のある地域防災計画を策定していきます。

【基本理念】

自らの命、安全・財産を自ら守る「自助」、地域の安全などを自分たちで守る「共助」、そして行政などが行う「公助」を基本とし、それぞれの責務・役割そして連携を明確にしなが、誰もが安心して安全な生活がいつまでも送れる地域社会の構築を基本理念とする。

基本理念の趣旨

本市地域防災計画の「基本理念」の趣旨は、大規模災害において、公助だけでは限界があることから、自助（市民）と共助（自主防災会、町内会、企業など）、公助（市および防災関係機関）を基本とし、相互の連携と活動の明確化を図り、災害を未然に防止する「防災対策」と被害を最小化する「減災対策」を図ることとしています。

「自助」・「共助」・「公助」の連携

自助

自らを自らで守る



市民の責務・役割

市民は自らの命、家族、財産などを守り、日ごろから安全のための備えに努めましょう。

- ・3日分の食料・水の備蓄
- ・家族間の安否確認方法
- ・家具の転倒防止、塀、よう壁の安全確保
- ・避難場所や避難ルートの確認 など

共助

地域でお互いに助け合う



町内会・事業者の責務・役割

町内会・自主防災組織など相互に協力を行い、事業者は管理施設や設備の安全を確保し、従業員や地域住民の安全確保に努めましょう。

- ・近所の声かけ、助け合い
- ・地域の防災活動への参加、協力
- ・管理施設の安全確保
- ・地域社会への貢献 など

相互協力

安全安心な生活

相互協力

公助

自助・共助とともに



防災活動組織の責務・役割

防災活動組織（市・消防・警察・自衛隊など）は災害から守るための施策の実施や防災体制の整備を行います。

- ・地域防災計画の策定
- ・避難所、備蓄品、その他防災施設の整備
- ・市民、町内会、各種団体への防災啓蒙活動
- ・防災機関、他市町村などとの連携

相互協力